

# 乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報 (小児科定点、インフルエンザ定点)

第 40 週 平成28年10月3日 ~ 平成28年10月9日

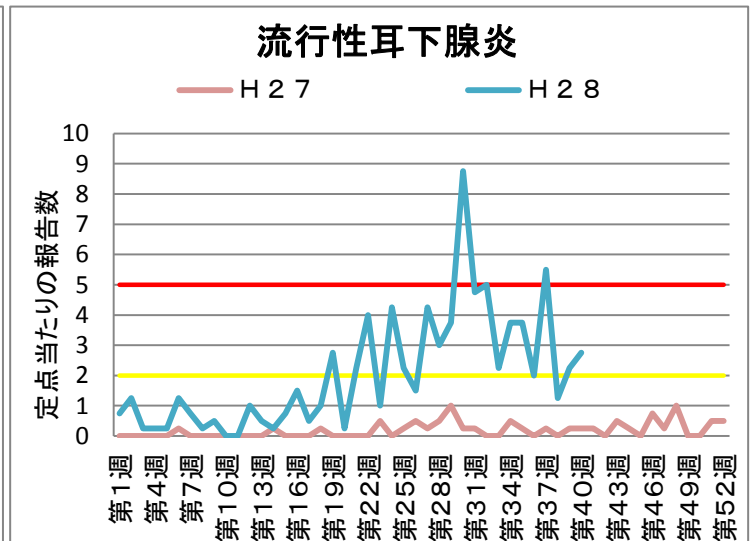
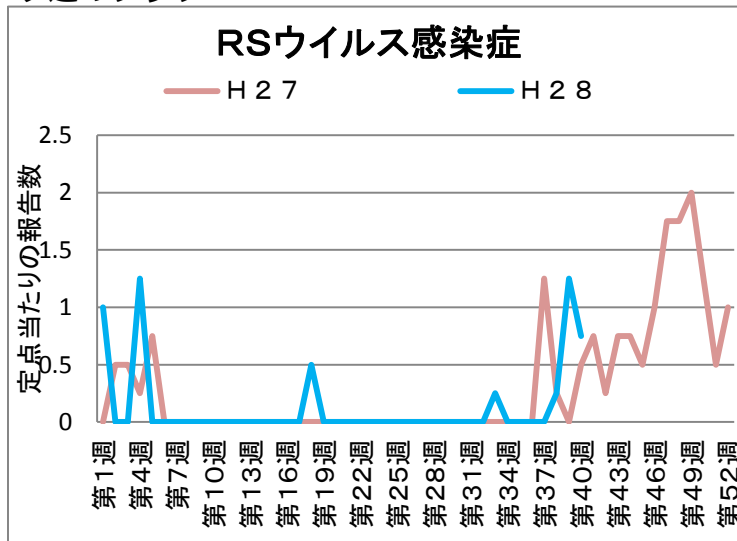
## 今週のコメント

○RSウイルス感染症の報告が増加しています。気候も秋らしくなり、全国的にもRSウイルス感染症の流行期(例年、秋～春)に入っています。RSウイルス感染症は、2歳までにほぼ全員が感染する急性呼吸器疾患で、それ以降も感染を繰り返します。大人や健康な子どもは軽い風邪症状のみですみませんが、初めて感染した乳幼児(0～1歳)は重症になるリスクが高く、気管支炎や肺炎で入院が必要になる場合があります。

○RSウイルスは、患者の咳やくしゃみなどの飛まつを吸い込んだり、ウイルスの付いた物を触ったりしてうつります。マスク・手洗いで感染予防を心がけましょう。咳のある方はマスクをして、重症化しやすい0～1歳児にうつさないように配慮しましょう。

○流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)の報告も引き続きみられています。

## 今週のグラフ



\* 赤線 流行警報基準値です 黄線 警報継続基準値です

## 今週の報告状況

疾病名	定点当たりの報告数	疾病名	定点当たりの報告数
インフルエンザ	-	手足口病	0.5
RSウイルス感染症	0.75	伝染性紅斑	-
咽頭結膜熱	1.25	突発性発しん	0.75
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	百日咳	-
感染性胃腸炎	6.25	ヘルパンギーナ	-
水痘	-	流行性耳下腺炎	2.75

定点当たりの報告数 = 1週間の報告件数総数 / 定点数

\* 乙訓管内 インフルエンザ定点数：7箇所、小児科定点数(インフルエンザ以外の疾病)：4箇所

## 参考資料等

報告週対応表

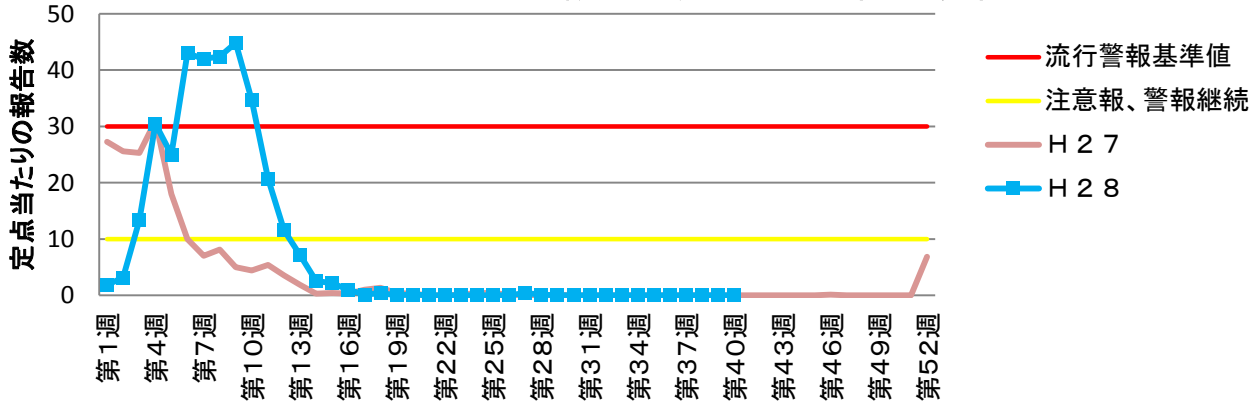
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

警報・注意報基準値の説明

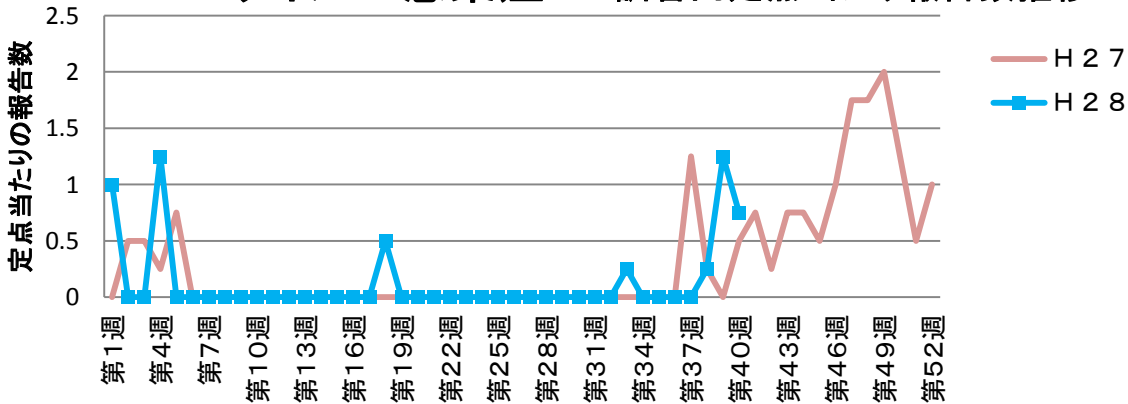
<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/inf-keiho/guide03.html>

## 定点報告による各疾病の推移

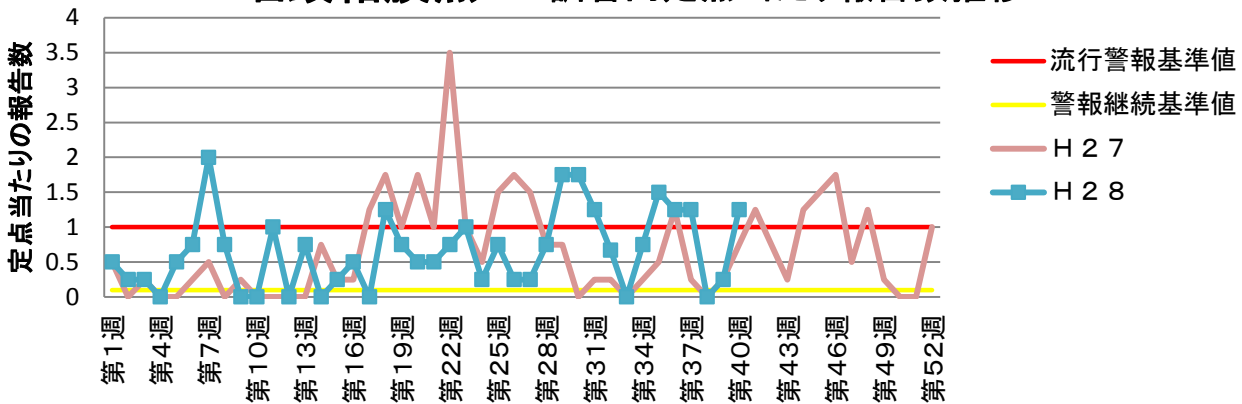
## インフルエンザ 乙訓管内定点当たり報告数推移



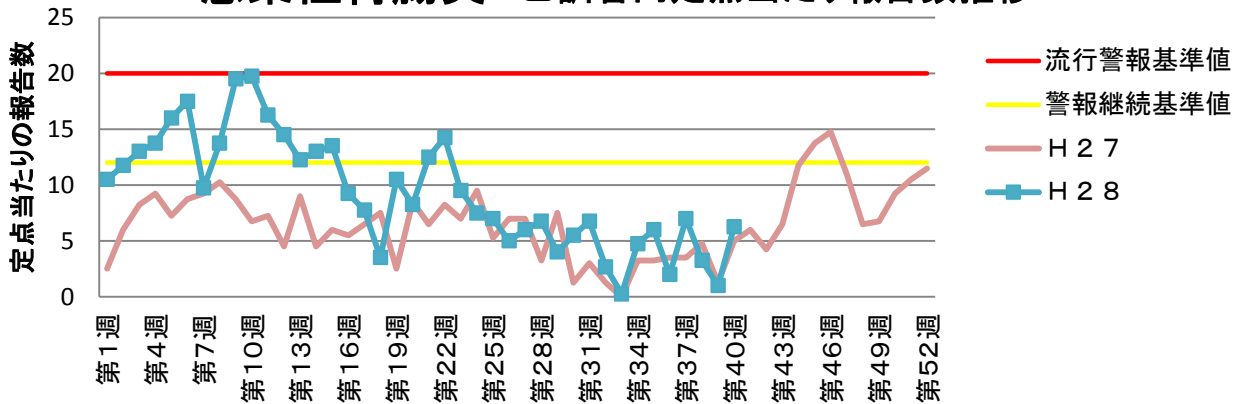
## RSウイルス感染症 乙訓管内定点当たり報告数推移



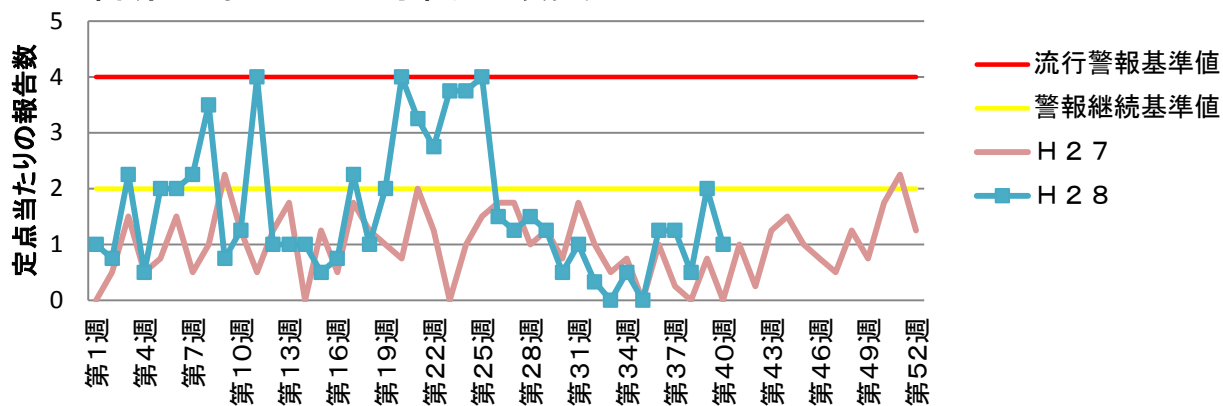
## 咽頭結膜熱 乙訓管内定点当たり報告数推移



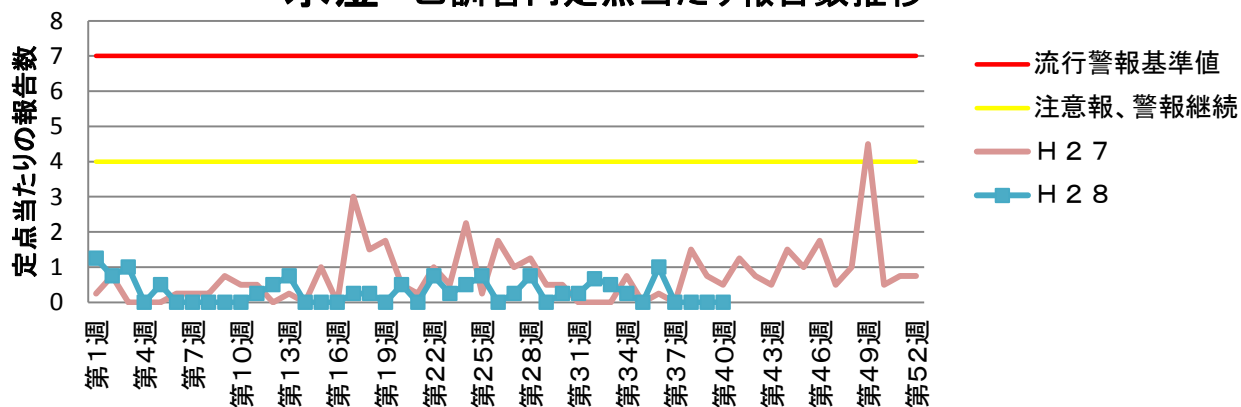
## 感染性胃腸炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



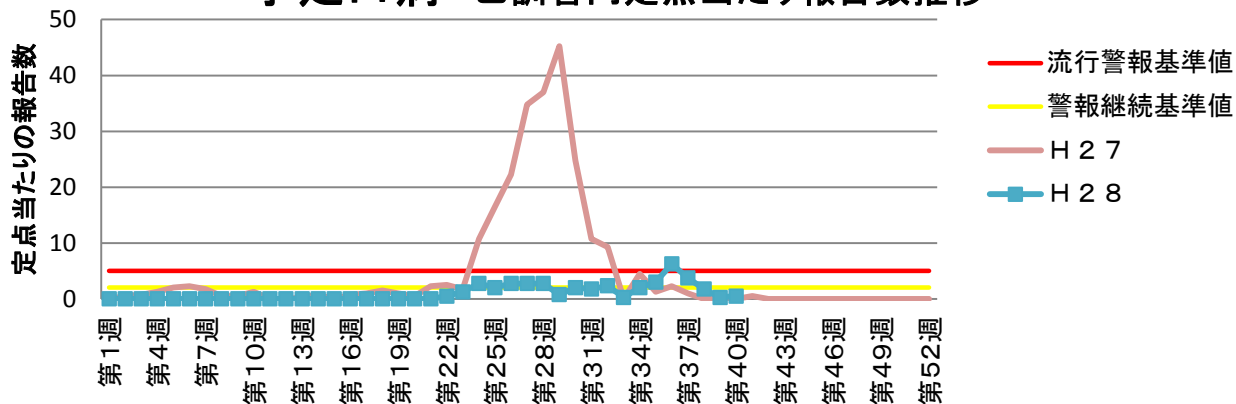
### A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



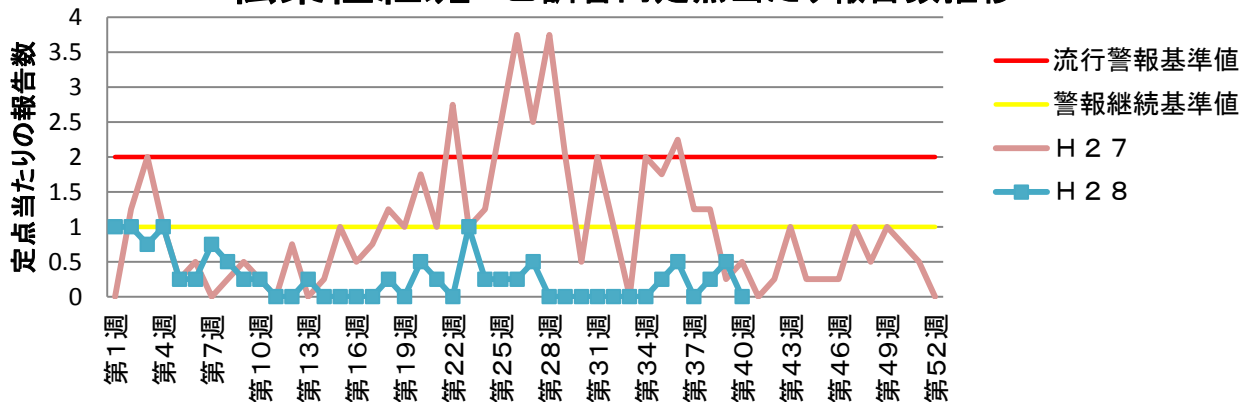
### 水痘 乙訓管内定点当たり報告数推移



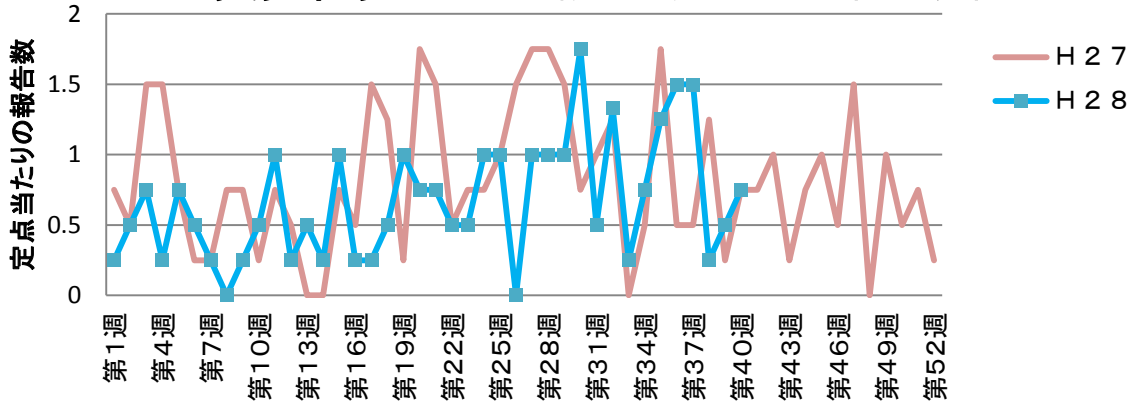
### 手足口病 乙訓管内定点当たり報告数推移



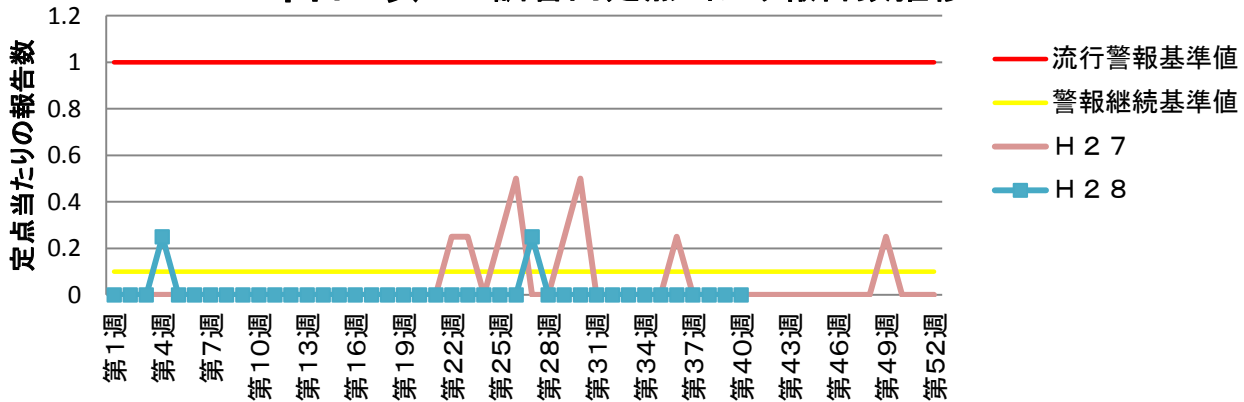
### 伝染性紅斑 乙訓管内定点当たり報告数推移



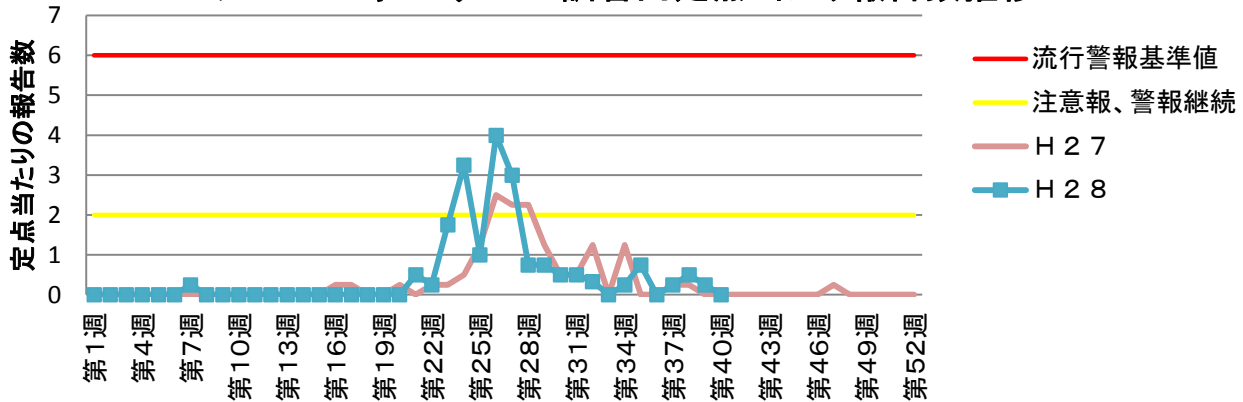
### 突発性発しん 乙訓管内定点当たり報告数推移



### 百日咳 乙訓管内定点当たり報告数推移



### ヘルパンギーナ 乙訓管内定点当たり報告数推移



### 流行性耳下腺炎 乙訓管内定点当たり報告数推移

